



なでしこ

ナースセンターだより vol.81

宮崎



● 外来



● 地域医療連携室



● 手術室



● 地域包括ケア病棟



● 訪問看護ステーション



● 3階病棟



● 5階病棟



● 看護部

小林市立病院

小林市は、霧島ジオパークや綾ユネスコエコパークに認定され、70カ所以上の湧水地がある名水百選折り紙付きの「水のまち」であり、独特の方言である西諸弁が有名です。そのような大自然の中にある当院は、2009年に病院名称を「小林市立病院」に変更し、2010年新病院をグランドオープン、2011年地域支援病院に承認されました。スタッフ一丸となり、病院理念の「安心」「安全」「信頼」を体現するために、地域に根ざした看護サービスの提供に努めてまいります。「どら、てのっせきばらんなら！（訳：さあ、みんなで頑張ろう！）」

CONTENTS

- 会長あいさつ
- 施設代表者会議（地区別開催）報告
- 宮崎県看護協会訪問看護ステーション
なでしこ2・3号館設立25周年報告
- ふれあい看護体験2025
- 保健師の魅力発信イベント

- 研修に参加して（認定看護管理者教育ファーストレベル、実習指導者講習会）
- 専門・認定看護師からみなさまへ
- 在宅支援室からのお知らせ
- 事務局からのお知らせ
- NURSE CENTER LETTER vol.81
- 理事会報告
- Let's take a break

令和7年度会員数
(令和7年10月20日現在)

● 保健師	203名
● 助産師	255名
● 看護師	7,436名
● 准看護師	328名
合計	8,222名

会長あいさつ



「観測史上初の高気温」…このニュースを幾度となく耳にする酷暑の夏がおわり、ようやく秋を感じるようになりました。

会長としては、選挙関連で看護職議員への応援に奮闘し、結果に安堵した夏でした。ご協力いただいた皆さまに心より感謝いたします。

日本看護協会が、9月に名古屋で開催した日本看護学会には、4,900名の参加者がありました。秋山新会長となって初めての学会であり、基調講演では、会長より「最適な看護をマネジメントする」というタイトルでお話がありました。その内容は、「看護職が連携のキーパーソンとして持つ『ケア全体をマネジメントする』という役割は、「管理職が行うもの」と思われるがちだが、対象者がどこにいても、いつでも、必要な看護を受けられるようにするために、すべての看護職が日々実践していることである」と語られました。

本協会では、今年度、「地域のネットワークの更なる強化」、「看護管理者の看護管理能力の向上への取組」を方針に掲げ、地区別の施設代表者会議を全地区で開催しました。施設代表者以外の方や会員ではない管理者など、前年の3倍以上の参加者数となり、地区開催の「メリット」を感じました。「看看連携」に関するワークでは、短時間ながらも活発な情報交換がなされ、地区の現状把握と今後の地区活動の課題発見につながるものとなりました。今までお名前しか知らなかつた方々と、顔の見える関係をつくる「場」となるこの会議は、本協会ならびに地区活動の推進に有意義であると考えています。

今後は、この関係をさらに有意義にするための課題に取り組みたいと思っています。施設代表者の皆様ご参加ありがとうございました。

秋は過ごしやすく、スポーツ、読書、芸術… たくさんの楽しみがありますが、本協会事業へのご協力もどうぞよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人 宮崎県看護協会
会長 久保 敦子

令和7年度施設代表者会議(地区別開催)報告

～看護職のネットワーク強化をテーマに開催～

常務理事 永野 秀子

施設代表者会議は、毎年1回、宮崎県看護等研修センターで開催していましたが、今年度は、地区的状況の把握、地域の看護職のネットワーク強化を目的に地区ごとに実施しました。会員施設以外からの参加も含め、参加者は全体で204名となりました。多くのご参加、ありがとうございました。短い時間でしたが、「看看連携推進のためのネットワーク強化」をテーマに意見交換を行い、参加者の顔の見える関係づくりにつながったものと考えます。参加された方には意見交換の結果(記録)を整理して提供しております。今後の地区活動に活かしていただければと思います。

プログラム

- ① ガイダンス……………常務理事 永野秀子
- ② 日本看護協会・宮崎県看護協会の活動について……………会長 久保敦子
- ③ 看護協会からの情報提供
 - 1) 看護管理者等支援事業について……………ナースセンター 看護人材獲得支援員
 - 2) その他の情報提供
- ④ 宮崎県医療政策課からの情報提供等……………県福祉保健部医療政策課 橋口暢
- ⑤ 意見交換 「看看連携推進のためのネットワーク強化」
- ⑥ 地区活動について……………地区理事

参加状況

地区(会場)	開催日	時間	参加人数		
			地区(内、未加入者)	協会役員	県
日向・東臼杵(介護老人保健施設メディケア盛年館)	6月27日	18:20~20:15	23(2)	7	1
小林・えびの・西諸県(小林市立病院)	7月1日	18:00~19:25	23(3)	7	1
宮崎・東諸県(宮崎県看護等研修センター)	7月3日	14:30~16:45	49(3)	9	1
西都・児湯(鶴田病院)	7月4日	18:30~19:55	23(3)	7	1
都城・北諸県(国立病院機構都城医療センター)	10月3日	18:00~19:35	36(4)	8	1
日南・串間(日南市まなびピア)	10月9日	15:00~16:55	20(1)	6	1
延岡・西臼杵(延岡看護専門学校)	10月17日	18:10~19:55	30(1)	8	1

看護協会の活動、看護協会からの情報提供



意見交換

今回は、「看護職のネットワーク強化」のため、看看連携推進のための連携の現状を共有する意見交換を行いました。意見交換では、下記の5つの視点で地区や自施設において「できていること」「困っていること・強化したいこと」を共有しました。

5つの視点

- I 入退院時における連携
- II 日常の療養支援における連携
- III 急変対応における連携
- IV 看取り対応における連携
- V その他



地区毎の意見交換の結果（記録）を、まとめました。（下記は、一例）

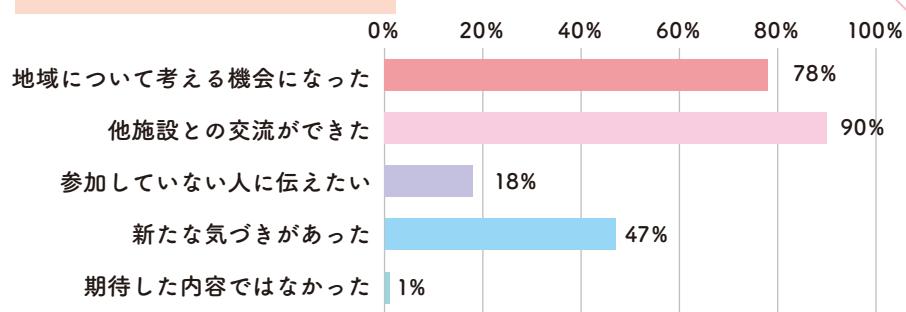
カテゴリー	A できていること	B できていないこと・困っていること・強化したいこと
I 入退院時における連携	<ul style="list-style-type: none"> ・退院が決定した介護保険認定対象者においては、患者・家族、担当 NS、栄養士、RH、ケアマネ、MSW（必要時、入所施設職員、訪問看護 NS）などがカンファレンス（1時間程度）を実施して連携を図っている。共有する退院時情報提供書を活用している ・院内に居宅支援事業所・老健施設・訪問看護ステーションがあり、毎朝入退院支援カンファを行っている ・自宅以外への退院は連携がとれていると思う。連携室が要となっており、介護保険への支援もできている。訪問診療は法人以外の施設とのスタッフとも連携がとりやすい ・入退院支援看護師、MSW を各病棟・外来に配置し、スムーズに支援ができるようにしている ・公立病院なので町内の患者の場合は、行政との連携がとりやすい ・地域連携室が関与し、施設・病院間の入退院支援を行っている。退院前カンファの開催・入退院カンファ週1回開催（連携室、病棟、リハ） ・関連している ST や施設職員、ケアマネとは情報共有がしやすい関係。連携室から週1回入院患者情報を提供している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携室を中心に精神科疾患の患者受入を積極的に行っているが、認知症患者の増加に伴い、入院受入れ困難な事例も出ている。受け入れ態勢を検討する必要がある ・地域ケア病棟に変わってレッスバイト入院が少なく、施設との連携をどうしたらよいのか ・法人内では連携しやすいが、法人外となるとワーカーが主となっているため看護職の情報共有が難しい
II 日常的な療養支援における連携	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護利用者の定期的な病院受診や入院に際し、情報提供の希望があつたので、訪問時の様子や治療後の状態について、ケアマネなどをを通じて情報共有ができた。結果、退院後に継続したケアが提供できた ・合併症があつて退院ができない患者を、連携室を通して、近隣の医療機関（地域包括ケア病棟を有する）へ受け入れてもらっている ・自施設外に認定看護師を研修講師として派遣している ・院内感染症発生時には、小林市立病院の感染管理 CN に相談している 	<ul style="list-style-type: none"> ・他院とのやりとりは連携室が行っているので、内容がわかりにくい
III 急変対応における連携	<ul style="list-style-type: none"> ・入所施設の嘱託病院として、利用者の情報が FAX で送られてくる仕組みがある。受診の要否について担当 NS が施設スタッフと情報共有し医師に繋ぐようしている。 ・急変対応においては、疾患別にどの医療機関に受け入れを要請をする決めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の病状が急変し、他病院を受診させる際、十分な情報の提供ができない ・急変時に対応していただける医療機関が少なく、結果として救急車の搬送となる（在宅→病院）
IV 看取り対応における連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の病院を受診している患者は、自施設の訪問看護ステーションと連携し、看取りまでできている ・小林市発行の「ぼくノート」を活用している <p style="background-color: #ffffcc; padding: 2px;">ぼくノート（ACP 関連）は、記載項目などが不十分なので、再検討が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期は、主治医と看取り対応について、書面などを通して共有している（有料老人ホーム） ・関連施設への看取り確認 <p style="background-color: #ffffcc; padding: 2px;">看取り（救命）の書面を作っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り対応における連携を強化したい（ACP のパンフレット等はあったが上手く活用できていない現状があったので、ACP シートを作成し運用を開始した） ・看護職と医師（主治医）との意見の相違があり、患者の状況を家族に上手く伝えられない ・家族が遠方、または縁故のないい独居者に対して、後見人などの対応が難しい ・えびの市内に、終の棲家として過ごせる自宅以外の社会資源がない（小林市内で最期を迎える場合が多く、患者や家族の思いが叶えられない）

アンケート結果（回収数 187、回収率 92%）

● 参加者からの声（抜粋） ●

- ◆ 顔の見える関係には有効であった。
また、組織の中で起きている問題や事柄が同じであることを認識することができた。
- ◆ なかなか協会の総会に行けない中、協会の活動について身近で聞けたことが、印象に残った。
- ◆ 他施設の取り組みを知ることができました。もっと顔がつながる活動が必要だ！と思った。
- ◆ 顔を合わせることの必要性を感じ意見が聞けたことがよかったです。
- ◆ 病院だけでなく、他施設、職種の方との交流がとても良かった。新たな気づき、情報を得ることができた。また、自分の振り返りにもなった。

会議後の感想（% = 回答数/回収数）



宮崎県看護協会 訪問看護ステーションなでしこ

【 25年のあゆみとこれからのはなでしこ2号館 】

宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ2号館 所長 那須 聰子



那須所長

2025年に当事業所が開設25周年を迎えることができましたのは、利用者の皆様、ご家族の皆様、そして地域の先生、関係者の皆様からの温かいご支援とご協力の賜物であり心より感謝申し上げます。2000年、介護保険制度の始まりと同時になでしこ2号館はスタートしました。「住み慣れた家で豊かな人生を送れるようにやさしい手で援助する」を理念に掲げ一歩一歩進んで参りました。当初、訪問介護は人々に知られていましたが、訪問看護はどんなことをするサービス？医師からは訪問看護の利用の仕方がわからないなど訪問看護が認知されるまでに時間がかかりました。しかし、常に地域に必要とされる存在であることを目指して歩んできました。この25年間に行われた介護保険、医療保険の制度改定で、訪問看護が少しずつ注目され、加算も増え国評価を実感しています。今では「なでしこさん」と地域の皆様から親しく呼んでいただけけるようになり、これもひとえに職員の献身的な働きと温かく見守ってくださる皆様のお力添えのおかげと存じます。これから先の道のりにおいても新たな課題や変化への対応が求められますが、私たちは初心を忘れることなく、利用者の方やご家族の方に住み慣れた場所で安心して過ごしていただけるように、より質の高い看護を提供できるよう努めてまいります。今後も変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なでしこ2号館の事業実績

(平成26年度～令和5年度)

		単位	平成26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	5
訪問看護利用人数	介護保険	人	331	361	358	357	361	503	460	469	512	668
	医療保険	人	266	306	314	375	414	437	426	385	477	467
	合計	人	597	667	672	732	775	940	886	854	989	1,135
訪問看護延べ件数	介護保険	件	1,350	1,526	1,559	1,772	1,762	2,441	2,337	2,359	2,860	2,898
	医療保険	件	1,152	1,424	1,467	1,768	2,086	2,158	2,088	2,184	2,889	2,851
	合計	件	2,502	2,950	3,026	3,540	3,848	4,599	4,425	4,543	5,749	5,749
居宅介護支援	件	693	820	829	730	618	589	711	786	900	929	
介護予防支援	件			64	112	40	100	82	66	51	69	
居宅総合計	合計	人	693	820	893	842	658	689	793	852	951	998



平成12年4月～平成23年10月

その他の事業

特別支援学校看護師派遣事業	H16年5月～H26年3月
グループホームとの医療連携の契約	H18年～現在
訪問看護研修（実習）受け入れ	H15年～現在
新型コロナ感染症対応（健康観察）	R3年～R5年
宮崎市医療的ケア児レスパイト事業	R6年2月～現在
宮崎市個別避難計画作成業務受託（居宅）	R5年10月～現在



平成23年11月～現在



2号館・3号館は25周年を迎えました

25th

【 25周年をむかえて(あゆみ) 】

宮崎県看護協会訪問看護ステーションなでしこ3号館 所長 中村 久美



中村所長

今年訪問看護ステーションなでしこ3号館は設立25周年を迎えました。四半世紀という節目を無事に迎えられたのは、地域の皆様、利用者の方とご家族の方、ならびに関係機関の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物であり、ここに心より厚くお礼申し上げます。

この25年の歩みの中で、医療や介護を取り巻く環境は大きく変化し、また社会全体のニーズも多様化して参りました。私達は「住み慣れた地域で安心して暮らせるように」という想いを胸に、利用者の方お一人おひとりのご意向を中心に、丁寧な対話を基に、信頼のある温かい看護を常に心がけてきました。

困難な場面に直面することも少なくありませんでしたが、そのたびに協会の方々や仲間と考え、知恵を出し合って行動してきました。振り返ると感慨深いものがあります。

そして今、私達は、これまで培ってきた経験を礎に、更なる専門性の向上と地域の医療人である後世の訪問看護師の育成、知見と信頼の継承に力を注いで参ります。そして、「なでしこ3号館の訪問看護があるから大丈夫」と言つていただけるような益々の信頼を築き、次の10年、20年を見据えて、未来へと歩みを進める所存です。

末筆ながら、これからも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なでしこ3号館の事業実績

(平成26年度～令和5年度)

		単位	平成26	27	28	29	30	令和元年	2	3	4	5
訪問看護利用人数	介護保険	人	276	359	305	339	389	514	415	452	492	513
	医療保険	人	398	391	406	488	582	542	630	626	586	457
	合計	人	674	750	711	827	971	1,056	1,045	1,078	1,078	970
訪問看護延べ件数	介護保険	件	1,527	1,988	1,532	2,001	2,109	2,955	2,242	2,301	2,380	3,010
	医療保険	件	2,374	2,137	2,261	3,198	3,761	2,882	4,021	4,265	4,131	3,161
	合計	件	3,901	4,125	3,793	5,199	5,870	5,837	6,263	6,566	6,511	6,171
居宅介護支援	件	203	205	262	284	273	258	200	209	335	460	
介護予防支援	件									42	14	
居宅総合計	合計	件	203	205	262	284	273	258	200	209	377	474



その他の事業

特別支援学校看護師派遣事業	H16年5月～H26年3月
訪問看護研修（実習）受け入れ	H15年～現在
新型コロナ感染症対応（健康観察）	R3年～R5年
宮崎市医療的ケア児在宅レスパイト事業	R5年10月～現在
宮崎市個別避難計画作成業務受託（居宅）	R5年10月～現在



只今、
育児休暇



なでしこ3号館職員





ふれあい 看護体験

2025

令和7年7月23日～8月8日/8月18日～8月22日

今年度は、61施設(病院、訪問看護ステーション、保健センター、助産院)で中学生16名、高校生497名、計513名が体験させていただきました。

体験にご協力いただきました関係機関の皆様には深く感謝申し上げます。

実施報告はこちる



都城市郡医師会病院

体験を受け入れて…

高校生のふれあい看護体験を受け入れ、看護の現場に触れる姿を見守りました。患者さんへの声掛けや学びに一生懸命に取り組む姿がとても印象的で、若さとまっすぐな気持ちに心が温かくなりました。この体験が看護の道を目指す気持ちをより大切に育てるきっかけとなり、将来の医療を支えていってほしいと願っています。

「保健師の魅力発信イベント」を開催しました

令和7年8月2日（土）、標記イベントを開催しました。県内の中学生・高校生・看護学生・保健師資格保有者・保護者の合計56名が参加されました。トークイベントおよび県内自治体・事業所・大学・ナースセンター・なんでも相談の合計14ブースで保健師の魅力を発信し、とても賑やかなイベントとなりました。



話題提供

「保健師の仕事」

松尾保健師職能委員長が保健師の職業について・保健師課程についてなどの情報提供を行いました。「人に寄り添い、地域全体の健康を守る仕組みをつくる、保健師はやりがいのある職種です」とお伝えしました。



第一部

トークイベント「ここでしか聞けない保健師の仕事」

3名の現役保健師に、それぞれの仕事内容ややりがい、これまでに取り組んできた保健師活動などを語ってもらいました。学生さん達はメモをとりながら熱心に話を聞き、質疑応答も活発な意見交換がなされました。

「とても面白くて話を聞いていて楽しかった」、「普段なら聞けない話を聞いてさらに保健師の魅力を感じた」などの感想をいただきました。



トークイベントにご協力いただいた現役保健師の方々

第二部

ブース設置「各自治体・事業所のお仕事内容紹介・相談」

県・市町村・事業所がそれぞれの特徴や魅力を伝え、ナースセンターが就職全般に関する相談対応をしました。また、今回は中学生・高校生も対象としたため、「そもそも保健師ってどんな仕事？」など、保健師のことならなんでも相談ができるブースや、保健師課程への進学に関する相談ブース（大学）も設置しました。

「大学の選び方やその市町村ならではの特色などを色々知ることができて、進路選択のいい参考になった」、「具体的な内容を自分で質問できて理解がとても深まった」などの感想があり、各ブースには参加者がたくさん訪れ、賑やかな時間となりました。

本イベントの様子は、令和8年3月発行の保健師職能だより「さくら」に掲載予定です。「さくら」は、毎年保健師職能委員会が作成している保健師関連の広報誌で、保健師の会員さんにお届けしています。看護協会内にも置いておりますので、来館の際はぜひご覧ください。



保健師職能委員会より

保健師のことを知りたいと参加された方々と、保健師の魅力を伝えたい現役保健師の皆さんとの表情を見ただけでも、このイベントを開催して良かったと思いました。さらに、参加者の感想に、「保健師というボンヤリした印象の理由がいろいろな業務や配置場所があるからなんだと気づいた。進路選択のための貴重な時間になった。」とあり、保健師自らが活動内容や魅力を発信していくことがとても大切だと確信したイベ

ントでした。また、出展にご協力いただいた方々との「保健師を目指してほしい」という思いも共有できました。

令和5年度に日本看護協会の委託事業として「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」を行いましたが、令和7年度は宮崎県看護協会の独自の取組として実施しました。今後も継続して、多くの方に保健師の魅力を伝えていきたいと思います。

認定看護管理者教育 ファーストレベル研修を終えて

開催期間 / 令和7年5月13日～9月9日 受講者数 / 66名

仲間とのつながり

県立日南病院 岩森幸代

この研修は、毎回座席配置が異なっていた。朝来たらまずは挨拶、自己紹介をすることで、緊張感が和らぎ、講義に挑むことができた。それから、ディスカッションやグループワークを通して、お互いの所属施設の情報交換や、業務上の悩みなど話をするなかで、同じ境遇に共感し、仲間意識を持つことができた。自部署のSWOT分析からの課題に対しては、メンバー同士で率直に意見を出し合うことで、対応策を導き出しまとめ上げることができた。このような仲間のつながりで、私は積極的、そして意欲的に研修に参加することができた。この研修後も、今回の仲間との繋がりを大切にし、これから先の困難な時に相談できる仲間でいたいと思う。

レポート課題を通して

日南市立中部病院 谷元なおこ

レポート課題は本当に大変でした。しかし課題のテーマに沿って、職場を見つめ直すと、問題の本質や取り組むべき課題が見えてくるようになりました。講義での学びを振り返り、自部署の問題を文献等で調べて分析していく。そうすると自分が問題だと思っていたことも、本質を捉え間違っていたことに気づかされます。そして初めて取り組むべき課題が見えてくる。その作業こそが、管理者としてマネジメントに必要な思考だと感じました。またレポートを書くことで、講義で得た学びを自分の知識、問題解決の技術にできるのだと思います。今後もこの学びを生かし、管理者としてのマネジメント能力を日々磨いていきたいと思います。

ファーストレベルの講義を受けて

若草病院 日高綾子

私は看護師長という立場でファーストレベルを受講しました。その中で、改めて管理者としての役割や責務を見つめ直すことができ、管理者としての在り方を深く考える時間となりました。それとともに、管理者としての責任の重さと難しさをあらためて実感しました。今、人材不足や業務改善、人材教育など様々な問題を抱えていますが、今回の学びを糧に一つずつ問題に向き合い、スタッフと力を合わせて乗り越えていきたいと思います。そして、患者さんがその人らしい生活を送れるような支援ができる病棟を目指していきたいです。



重要なご案内

認定看護管理者教育課程研修変更について

日本看護協会では、認定看護管理者教育課程の見直しを行っております。

それに伴い、宮崎県看護協会での現行のファーストレベル・セカンドレベルの開催は2026年度までとなります。

実習指導者講習会

令和7年度宮崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会(病院主体コース・特定分野コース)が無事に終了いたしました。

講習会にご参加いただきました受講者の皆さん、開催にあたりご協力を賜りました各施設の皆さん、そして多くの学びを与えてくださった講師の先生方に、心より感謝と御礼を申し上げます。

【病院主体コース】

期 間:令和7年5月28日～8月6日(うち29日間)
修了者:42名

【特定分野コース】

期 間:令和7年5月28日～7月25日(うち9日間)
修了者:12名(令和6年度受講者1名を含む)

病院主体 実習指導者講習会を終えて

私は今回実習指導者講習会で5月28日から約2ヶ月間学ばせて頂きました。開講式の日は知り合いもいなかったため、緊張しながら会場に向かったのを覚えています。しかし、日を追うごとに同じ目標に向かい学ぶ仲間たちと打ち解け、支え合いながら充実した日々を送ることができました。毎日の学習カード提出は大変でしたが、学びを言語化する事の難しさに直面し、学生がレポートを提出する時の気持ちを、身をもって理解する事が出来ました。久しぶりに受ける授業や演習は、まるで学生時代に戻ったかのようで、本当に楽しく、刺激にあふれた日々でした。

講習会を通して、学生のレディネスを把握し準備する事の重要性を再認識しました。学生一人ひとりの理解度や成長段階に応じた関わりが、より良い学びにつながることを実感しました。そして何より、実習は教材の宝庫であり、臨床の場には学生にとって多くの気づきや学びのチャンスがあふれてい



特定分野 実習指導者講習会(特定分野)を終えて

当事業所は、来年度より地域・在宅看護の実習施設となる予定となり、今回の実習指導者講習会に参加させていただきました。

今回の実習指導者講習会を通して、実習指導者とは学生と現場スタッフを結ぶ架け橋となる存在であるということに気づくことができたのが自分の経験の中で一番大きかったです。

『訪問看護』という、病院と異なる領域で実習を経験していくことになります。訪問看護の現場を知つてもらうことはもちろん、訪問看護の楽しさであったりやりがいを感じてもらう、とても重要な機会になることに気づくことができました。講習会では、教育の原理や教育の心理という基礎的な知識を学び、教育の対象となる実習生の特徴なども学ぶことができました。その上で、実際に実習指導案をグループに分かれて作成しました。

指導案を作成するにあたり、6つの構成要素の1つである『ねがい』の部分が一番難しかった印象でした。訪問看護の実習指導者として、訪問看護のどの場面を教材とし、学生に何を学んで欲しいのかなどを実際に言語化し設定するのが一番苦労しました。

なでしこ会議 | 9

野崎病院 竹迫 愛珠歌

ます。その貴重な機会を逃さず、実習の中で教材を意味づけし、主体的な学びを促していきたいです。そして、自分自身も常に学び続ける実習指導者でありたいと感じています。

今年は全員が皆勤賞で、閉講式では42人誰1人欠けることなく修了証を貰うことが出来ました。実習指導者講習会で様々な施設で活躍されている受講生の皆さんと出会い、共に学べたことは大きな財産です。同じ志を持つ仲間と意見を交わす中で、気づかされること、励まされることが多くありました。この出会いに心から感謝しています。

最後に様々な状況の中、講習会に理解を示し素晴らしいメンバーを快く送り出してくださった各施設の皆様、熱心にご講義、ご指導してくださった講師の皆様、運営をしてくださった看護協会の皆様全ての方に支えられ閉講式を迎える事が出来ました。本当にありがとうございました。



特定分野 実習指導者講習会(特定分野)を終えて

訪問看護ステーション GLEEE 岡原 優

しかし、グループメンバー7人で様々な経験や症例などを基に話し合いながら7人が考える理想の実習指導案が作成できました。

訪問看護はいま訪問看護師が不足している状態が続いています。

当事業所も実習施設の1つになることで、少しでも多くの学生に訪問看護の楽しさ、おもしろさややりがいを知つてもらい1人でも多くの訪問看護師が増えることを願っています。そのためにも実習施設として、今後も研鑽していきたいと思います。

今回の実習指導者講習会でご指導していただいた講師の先生方や看護協会の皆様に深く感謝申し上げます。またグループメンバーのみんな、ありがとう!!



安全・安楽な食事 ポジショニング調整について

摂食嚥下障害認定看護師 徳永 洋平
(西都児湯医療センター)



食事中の誤嚥しやすい姿勢は、セルフケア能力の低下や食事摂取量の減少に繋がり、また、むせや誤嚥・窒息という重大な事故を引き起こしてしまうリスクが高くなります。そして、美味しく食べることが難しくなります。

普段、食事時ポジショニング調整で困ることはないでしょうか?ここに、安全で安楽な姿勢調整方法を紹介したいと思います。個々の摂食嚥下機能により、食事摂取するときのベッドアップ角度は様々ですが、今回は、60度以上の食事ポジショニング調整方法を説明します。ベッド角度60度は、一般的に良く見られるベッド上での食事姿勢です。食べ物が見えやすく、自力摂取が可能となります。抗重力位となりますので、口に入れた食物を喉に送り込む能力が必要です。デメリットとしては、姿勢が下方や左右に崩れやすく、重力位と比較して誤嚥しやすくなります。そのため、正確なポジショニング調整が必要となります。下記に手順を、お示し致します。

食事ポジショニング調整方法 手順

- ①体をベッドの中心にして、骨盤をベッドの屈曲部より上部へ移動させる。
- ②下肢を20度程度上げる。
- ③頭部を60度程度上げて、下肢を10度~15度へ少し下げます。
- ④頭部から足先にかけての圧抜きをします。(背抜き、腰抜き、足抜き)
- ⑤しっかりと踏ん張るように、フッショーン等を足底部に当てて安定させます。
- ⑥両肘下にフッショーンを当てて安定させます。
- ⑦頸部が前屈位(目安は、下顎から胸の間が4横指)になるように、枕やバスタオルを用いて調整します。
- ⑧テーブルの高さは腋窩と臍部の中間に合わせます。



【参考文献】追田綾子、「誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケア」三輪書店, 2016,P173
追田綾子、「誤嚥予防、食事のためのポジショニング」POTT プログラム
医学書院, 2023,P180



安全、安楽な食事ポジショニングに調整することで、誤嚥・窒息の予防や、セルフケアの拡大に繋がります。
そして、なにより美味しく食べることができますので、是非、参考にしていただけたら嬉しいです。



専門看護師・認定看護師の皆様へ

宮崎県看護協会HPに、CNS・CN専用ページ(掲示板)を開設しています。情報発信、情報収集に是非ご活用ください。

利用申請は、[宮崎県看護協会公式ホームページ](#) ▶ [看護職の方へ](#) ▶ [CNS・CN専用ページ](#) からどうぞ!

在宅支援室よりお知らせ～♪

2025年度 訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～のご案内

職場や自宅のパソコン・タブレットなどで、自分の好きな時間に、「いつでも」「どこでも」訪問看護の知識が学べます。
仕事や家事など自分の生活スタイルを活かして学んでみませんか。



- 訪問看護の基礎を勉強したい訪問看護師
 - 「訪問看護をやってみたい」と考えている医療機関や福祉施設等で働く看護師や離職中の看護師
 - 退院支援に活かすために知識を広げたい病院看護師
 - 地域・在宅看護論を教えるときに参考にしたい看護教員
 - 「訪問看護研修STEP1」の受講予定者
- ※受講要件:「訪問看護eラーニング」修了が必須!

申込先

公益社団法人 日本訪問看護財団

「訪問看護eラーニング」のページ <https://www.jvnf.or.jp/e-learning/>

応募期限 12月4日(木)まで申し込みができます。まだ、間に合います!今すぐ、アクセス!

学習内容 詳細は、「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」のホームページをご覧ください。

2025年度 訪問看護 e ラーニング ～訪問看護の基礎講座～のご案内

「訪問看護人材養成基礎カリキュラム」に準拠



項目	「訪問看護 e ラーニング～訪問看護基礎講座～」学習内容 (2024 年度版)
訪問看護概論	訪問看護の役割、介護保険など保健医療福祉制度、訪問看護ステーション開設・運営の基礎、訪問看護の倫理など
在宅ケアシステム論	地域包括ケアシステム、多職種連携、ケアマネジメント、在宅移行支援など
リスクマネジメント論	医療安全、労働災害予防、感染管理、災害対応など
訪問看護対象論	訪問看護の対象 (療養者、家族、地域)
訪問看護展開論	訪問看護過程、訪問看護の実際・記録など
訪問看護展開のための知識・技術	療養生活の支援、フィジカルアセスメント、リハビリテーション看護、服薬管理など
医療処置別の知識・技術	経管栄養法、中心静脈栄養法、スキンケアと褥瘡ケア、ストーマケア、腹膜透析、在宅人工呼吸療法など
対象別の知識・技術	急変時、がん、認知症、精神、小児、難病、エンドオブライフケア

2026年度看護協会継続手続きのご案内

会員の皆さまへ12月18日より順次、「継続のお知らせ」を送付します。内容をよくご確認のうえ、会費の納入をお願いいたします。

会費の納入期日について

- 口座振替の方 2026年2月27日(金)
- 施設とりまとめの方
..... 所属施設の担当者の方にご確認ください
- コンビニ払い・銀行振込の方
..... *2026年2月27日(金)

*上記記載日を過ぎても、会費納入は可能です。



届着ハガキは、必ず開いてご確認ください。
会員専用マイページ「キャリナース」で会員情報の確認・変更をお願いします!!



「キャリナース」はこちらから

継続のお知らせ
Q & A

Q 「継続のお知らせ」が届きません。

A 2025年度会費未納の方は、「継続のお知らせ」の発行はありません。また、2025年度の会費納入が11月以降の方については、第1回目の発送分には含まれない場合があります。翌月以降に送付されますが、会費の納入期日については、上記をご確認ください。

Q 2026年度は、退会する予定です。

A 「退会届」の提出が必要です。退会届の提出方法については、宮崎県看護協会ホームページでご確認ください。

Q 県外へ転出する予定です。

A 県外へ転出する予定のある場合は、お早めに宮崎県看護協会にご連絡ください。

福利厚生のご案内

宮崎県看護協会会員向けサービスについて

宮崎県看護協会会員の方が利用できるサービスがあります。

それぞれの詳細は、宮崎県看護協会のホームページをご覧ください。

会社名等	内 容
九州リオン株式会社 NEW!	リオネットセンター宮崎店・都城店において店内補聴器全品 10% OFF
株式会社 J CM	クルマ買取サービス ①無料にて出張査定サービス。 ②買取代金とは別途、商品券 (JC ギフトカード) 1 万円分を進呈。(買取金額 5 万円未満は対象外)
ハーモニーランド ★サービス内容の変更有り	2025年12月1日(月)から2026年1月31日(土)までの期間中、パスポートチケットを優待料金で利用可能(一般料金3,600円⇒優待料金2,000円)。事前のオンライン購入が必要。3歳まではチケット不要)。なお、これまで提供されてきた無料招待サービスは終了となりました。
エクシーズラボ	①全施術メニューを定価から50% OFF ②店内商品500円OFF(施術を受けた方限定) ③提携駐車場無料券配布(限度額あり)
シーボン宮崎店	①トライアルプラン(所要時間120分)無料招待 ②ホームケア製品24,000円(税抜)以上購入で、「東洋式トリートメント巡」+ヘッドマッサージ2回サービス ③当日シーボン製品10,000円(税抜)お買い上げでスキンケアミニセット(2泊3日)プレゼント
杜の酵素 808	酵素風呂・バリニーズマッサージ(60分)・CS60(60分)の施術メニュー全て10% OFF キャンペーン実施中は、キャンペーン価格から10% OFF
ニッポンレンタカー	利用割引あり
トヨタレンタリース宮崎	県内のトヨタレンタリース宮崎の店舗にて特別料金で利用可能
メモリード宮崎	婚礼・葬祭に関する一部割引あり
SOMPO グループ	・年金理解・資産形成支援サービス ・「長期収入サポート制度」(団体長期障害所得補償保険) ・「親子のちから」(親介護費用補償特約セット団体総合保険)

見舞金の支給について

宮崎県看護協会では、住宅全壊、半壊傾斜、床上浸水の被害にあわれた会員を対象に災害見舞金をお送りしております(市町村発行の罹災証明書が必要です)。また、会員ご本人が死亡した場合や会員の配偶者及びその他一親等の死亡された場合は、弔電をお送りしております。該当がございましたら、宮崎県看護協会へご連絡ください。

NURSE CENTER LETTER Vol.81

センター長あいさつ

荒川 貴代美

今年もふれあい看護体験者を受け入れていただいた施設の皆様、ありがとうございました。現場の看護師との交流は何物にも代えがたい貴重な経験となりました。体験終了後のアンケートでは、看護師・看護の仕事のイメージについては、「人の役に立てる」は、体験前74.1%から体験後62.5%でしたが、「やりがいがある」については体験前47%から体験後64.2%に、「看護師の仕事の内容は幅広い」については体験前9.7%から体験後43.3%となり、ふれあい看護体験を通して、看護師・看護の仕事へのイメージが変わったと言えます。また、「忙しそう(大変そう)」については体験前58.4%から体験後18.9%に減少しており、職業としてプラスのイメージになったのではないかと考えます。ふれあい看護体験報告は協会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

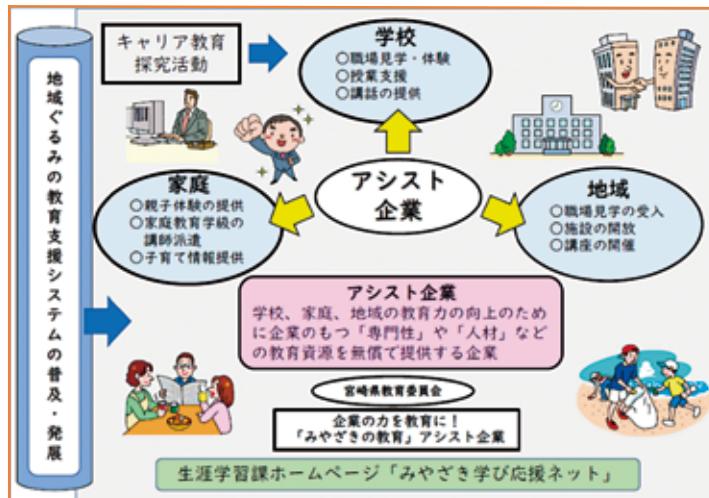
宮崎県ナースセンター(以下ナースセンター)が毎年行っている県内の高校卒業者を対象にした看護系進学状況調査によれば、高校卒業者の数は調査開始時の2003年は13,539人でしたが、2025年には9,119人となり4,420人減少しています。また、宮崎県医療薬務事情によれば、県内の看護師養成学校への進学も目に見えて減少しています。つまり、今後新卒看護師として就業する数の減少は加速すると予想できます。

ナースセンターでは看護を目指す人材の確保に向けて、「看護進路相談会」、「ふれあい看護体験」、「看護の出前授業」、「中高生のキャリア教育支援」など様々な取組を行っています。2025年3月に行った看護系進学状況調査ではふれあい看護体験者335人のうち258人(77%)が看護系に進学しています。日本看護協会は「少子高齢化や人口減少が進行するなかで医療体制を適切に維持するためには、18歳人口のうち18人に1人(5%)の割合で看護職を目指してもらう必要がある」としています。

そこで、各医療機関や施設においても地域の小・中学生に對し看護の魅力を伝える取組をする必要があります。地域において看護職は、必要不可欠な存在であること。身近な存在であることを伝えましょう。地域のイベントへの協力や病院招待等などの企画をしてはどうでしょうか?既に職場見学会を独自に行っている医療機関や施設があるとお聞きしています。

宮崎県教育委員会では「アシスト企業」という取組をしています。右図のとおり、専門性や人材など豊富な教育的資源を有する企業等と連携・協働し、企業等が積極的に学校・家庭・地域の教育活動に参画する地域ぐるみの教育支援システムです。宮崎県看護協会も企業登録し、小中学校のキャリア教育に協力しています。

是非、企業登録を!! 詳しくは <https://www.sun.pref.miyazaki.lg.jp/assist/>をご覧ください。



(ようこそ、宮崎県看護協会へ)



10月8日(水)、宮崎県立宮崎南高等学校の2年生5名が「探求学習」の一環で宮崎県看護協会を訪問されました。皆さんには看護職を目指しており、「なぜ看護職は離職率が高いのか」という問い合わせを探求中です。人手不足やメンタルヘルスケアの不足が原因ではないかと仮説を立て、現状や協会の支援について学ぶため来訪されました。

「看護職の離職率は高いと思っていたが、そうではなさそうだ。離職率を下げるために、協会ではどのような取り組みをされているのか」との質問に対し、会長から職能団体としての活動や、働きやすい環境づくりのための法整備、ストレスチェック制度、新人教育の充実などについて説明がありました。

コロナ禍での看護職の苦労について「患者さんにしてあげたいことが、してあげられなくなったことが一番のストレスだった」というエピソードが紹介されました。小中学生時代をコロナ禍で過ごされた皆さんにとって印象深かったようで、熱心に耳を傾けていました。今回の訪問を通して、皆さんを感じたことが今後の学びや進路選択に活かされることを願っております。これからも宮崎県看護協会では、さまざまな形で「看護の魅力」をお伝えしてまいります。

第1回 中小規模病院の看護管理者能力向上研修会を開催しました

中小規模病院の看護管理者は、各医療機関等の特徴による独自の課題、どの医療機関等にも共通する課題の解決に向け懸命に取り組んでおられます。業務過多となっており、余裕がない状況にあります。看護管理者からは「自己の管理能力に自信が持てない」「看護管理について学びを深めたいが時間的に余裕がない」という声や「困った時に相談できる看護管理者が欲しい」という声が聞かれます。そこで今年度は、看護管理に対する知識・スキルの向上と、地域の看護管理者間の交流を深める目的で、大分県の中小規模病院等看護管理者支援研修に十数年関わってこられた大分県立看護科学大学の福田教授をお招きし、研修会を実施しましたので報告します。

日時 令和7年9月22日(月) 13:00~16:00 **会場** 宮崎県看護等研修センター

講師 大分県立看護科学大学 看護学部 教授 福田 広美 氏

内容

講演

- ① 中小規模病院の看護管理者に求められる能力・役割
- ② 中小規模病院の看護管理4つのポイント
- ③ 看護管理者状況・行動評価シートの活用
- ④ 大分県中小規模病院等看護管理者支援事業の取組み

グループワーク

- ① 自己の課題を明確にしよう
- ② 他施設の看護管理者との繋がりを深めよう

対象者 200床未満の病院・200床以上で精神病床8割以上の病院の看護管理者

1 参加状況 参加者数:53名 参加施設数:39施設

2 講演・グループワークの様子



3 講演内容(抜粋)

地域密着型病院(中小規模病院)の看護管理者に求められる能力・役割とは

- ①「地域密着型病院」の看護管理者が地域の健康をつくる
- ②「小規模・多様性」といった組織の特徴をプラスに転じる看護管理
これらの考え方は、中小規模病院の負のイメージの「特徴」をプラスに転化し「特長」として捉えられることで強みとして考えることができます。

地域密着型病院の特徴から特長へ違う見方をしてみる
(講師の資料より)

特徴	特長
施設の規模が小さい 人数が少ない	変化を起こしやすい 管理者との距離が近い 個々と直接話し合うことができる 全体・現場・問題・人が見えやすい 人を育てやすい 他部門と近い
立地 (市内から遠い)	地域住民の生活に近い 住民と顔の見える関係 地域の課題解決に取組める
看護師の年齢が高い 中途採用者が多い	経験が豊富 看護師を育成できる

地域密着型病院の看護管理の4つのポイントとは

- ①スタッフの身近にいて一人ひとりが力を発揮、成長を目指す
- ②組織の中で専門職として機能を発揮できるようにする
- ③看護管理のぶれない軸を持つ
- ④多様な人とのつながり、自らの仕事の経験を通して学ぶ

これらのポイントは、参加者が事前課題として看護管理行動評価シートBの内容でした。(中小規模病院看護管理支援事業ガイドライン参照)また、大分県の看護のネットワーク推進事業についてもご教示していただき、中小規模病院等看護管理者支援の実践報告を聞くことができました。

4 まとめ

受講者からは「改めて看護管理について考えることができ勉強になった」「看護管理のぶれない軸を持つということが一番響きました」等の声が聞かれ、アンケートでの「講義内容の理解度」では全員が肯定的評価でした。グループワークは、地域ごとに分かれて行ったことで、「悩みが打ち明けられ、アドバイスももらえて有意義な時間だった」「自己のやれていいくことを明確にできた」等の声が聞かれ、アンケートでの参加状況・内容等についても全員が肯定的評価でした。今回の研修では、評価シートを活用して日々の看護管理を振り返り課題解決に取り組むこと、地域のネットワークを通して看護管理者間の連携を深めることで、看護管理能力が向上していくことなど多くの示唆を得ることができました。

現在、受講者の皆さまはその学びを踏まえ、各施設において看護管理の実践に取り組まれている段階です。次回研修(11月20日)では、こうした実践の成果や課題を持ち寄り、互いに共有・振り返ることで、さらなる気づきと学びを得る時間としたいと考えています。

令和7年度 / 看護職の働き方改革研修会・事例報告会

令和7年8月22日に行われた研修には98名(51施設)が参加しました。



基調講演 プラチナナースの活用「ジョブ型人事の導入」

講師は、社会保険労務士法人ラポールの特定社会保険労務士の山口ひろみさんです。高齢者雇用制度とジョブ型人事の導入にあたっての職場の取組について学びを深めることができました。

高齢者雇用安定法(令和3年4月1日施行)では、

- ①65歳までの雇用確保措置(義務)
- ②70歳までの就業確保措置(努力義務)

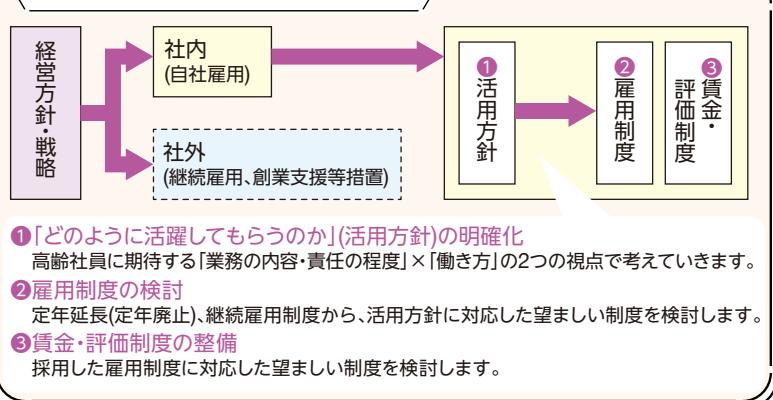
について雇用側は取り組まなければなりません。令和6年度 宮崎県看護職員需給調査によれば定年制度がある施設は、445施設のうち403施設(90.6%)で、「定年なし」と回答したのは42施設(9.4%)、定年制度のある施設のうち継続雇用制度があるのは352施設(79.1%)でした。県内の約88%の施設では高齢者雇用が確保されていますが、継続雇用制度がないという施設もあり早々の対応が望まれます。

プラチナナースを「戦力化」するには、再雇用後の職務・役割について明らかにする必要があります。「何を期待しているのか」を伝え、「働きぶりを適切に評価」することが大切です。つまりこの考え方がジョブ型人事です。社内にどのような仕事・職務があるかを明らかにし、仕事に人をつけるという考え方です。「70歳雇用推進マニュアル」(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)には「高齢社員が活き活き働き続ける仕組みづくり」として「賃金・評価制度の整備」について紹介されています。さらに、高齢期を見据えた職員の能力開発「計画的なキャリア研修の実施」の重要性について紹介がありました。これは40歳代から行うキャリアに関する研修で、ナースセンターもキャリア研修を推進しています。

表1 定年制度の有無と継続雇用制度の有無
n = 445単位:施設

	定年あり403(90.6%)	
	継続雇用制度あり	継続雇用制度なし
定年なし 42 (9.4%)	352 (79.1%)	51 (11.5%)

賃金・評価制度の整備までの流れ



事例報告会

事例報告会では看護人材確保・定着に関する各医療機関の取組や医療(看護)のDX導入についての情報提供を企画し、3施設に事例報告してもらいました。看護職員が働き続けるための多様な働き方、やりがいの持てる職場づくり、DX等の導入について学ぶ機会となりました。事例報告会後の意見交換では今後の取り組みについても議論しました。報告内容を抜粋してご紹介します。



会場の様子

事例報告1

外国人雇用によるタスク・シフト/シェア、時間外労働削減を実現

医療法人尚成会 近畿病院 看護部長 鶴野 和代氏

●背景

- ①看護人材不足・看護補助者不足・看護人材の高齢化
(特に看護補助者2023年8月12人→2024年4月6人)
- ②募集をかけても応募がない
- ③2回/週の入浴ができない 看護ケアの低下
- ④時間外に浴室清掃などの残務がある

●取組内容

- ①看護体制の変更
機能別看護から受け持ち制やパートナーシップに変更
- ②海外人材3名の雇用(母体の病院の海外人材育成の活用)
雇用にあたっての準備
海外技能実習生向け:リモート面接、担当職員の選定、業務手順の整備、住居の準備、初期の生活用品の準備
職員向け:受け入れスケジュールの共有、ミャンマーの文化と歴史の共有、生活用品の準備の協力
入職後の研修の実施と技能実習生年間計画の実施

●取組結果

- ①看護体制の変更
(機能別看護から受け持ち制やパートナーシップに変更)
患者の信頼を獲得
看護ケアができることで職員の満足度があがった
- ②海外人材3名の雇用
安定した雇用の確保
タスク・シフト/シェアを実現
週2回の入浴回数を確保
時間内に業務が終了し時間外の削減

●課題

- ①通勤や休日の安全確保
- ②有事の報告ルートの仕組みづくり
- ③教育体制の整備

事例報告2

セル看護提供方式を参考に 看護の質向上、時間外労働削減を実現

宮崎善仁会病院 副看護師長 大坪 龍司氏

●背景

- ①入院件数が多く日々の残業が多い
- ②多忙な業務、超過勤務が原因の退職者が多かった
- ③看護人材の不足、人材の補充の困難

●取組内容

- セル看護提供方式の導入と業務改善
「看護業務の3つのムダを無くす」
- ①動線(動き)のムダ～何回も場所を往復(物を取りに行く、戻る。人や物を探す)
- ②記録のムダ
チーム医療メンバーに読まれない記録、活用されない記録、重複した記録
- ③配置のムダ
患者を受け持たない看護配置。必要度に添わない看護配置。患者の病室割が重症度での偏り

●取組効果

- ①超過勤務の軽減(10時間→2時間まで減)
- ②看護の質向上
日勤帯の看護師一人に患者4人を受け持つことで患者へ看護を行う時間が増え、ナースコールが減った。
新人、若手看護師への指導・教育は業務内に実施が可能
- ③業務改善の視野が広がった
・配薬の方法・血糖測定・点滴の準備・保清の組み方・物品の配置や定数(5S)・看護補助者とのタスクシフトシェア

●課題

- ①業務改善のためPDCAサイクルにて改善させていく。
- ②看護の質の向上
- ③前残業の削減 意識づけや仕組みの見直しを行う。

事例報告3

DXの導入によって看護の業務効率化の実現

介護老人保健施設 螢邑苑 施設長 黒木 正樹氏

●背景

- ・職員からの要望、困っていることの改善、離職防止
- ・情報伝達、共有の課題
- ・スタッフの身体的・精神的負担の軽減
- ・利用者の安全への配慮→「転倒予防のため離床センサーを使用していたが、台数が増えるたびに利用者のアラーム音を把握することが難しくなった。」こと

●取組内容

- ・介護テクノロジー導入支援の拡大(介護ロボット・ICT)の推進→補助金を活用し、眠りSCANを導入
令和3年に「眠りSCAN」15台、眠りSCAN用スマートフォン3台、Wi-Fi環境設定
- 令和7年に「眠りSCAN」10台、Wi-Fi環境再設定、(入所フロア)にインカム16台

●取組効果

- ・気になる利用者の夜間の動きや脈拍、呼吸がモニターできるので、夜勤スタッフの精神的負担が軽減した。
- ・夜間の排泄介助のタイミングが予測できる。
- ・複数人でのタイムリーな情報共有、看護職と介護職の連携がスムーズに行える。

●課題

- ①更なる業務効率化
転記ミスを減らすタブレット入力のケア記録支援ソフト導入を検討中。
- ②生産性向上委員会
業務効率化の推進とDX活用について協議。今後生産性向上推進体制加算の算定を開始予定。
- ③離職防止、定着支援
定年後も働いているスタッフもいるため、今後も現場での困りごとを改善して、離職防止に努めたい。

アンケート結果

回答状況:回答数76(回収率77.6%)

施設におけるDX導入状況について、「DX導入に該当する項目があるか」との問い合わせに対し、76名中22名が「該当項目あり」と回答しました。該当項目の詳細は図1に示すとおり、バイタルサインの自動入力が最も多く、次いで入院患者の見守りシステムの導入が挙げられました。

研修の感想としては、「実際の現場の声や各施設の取り組みが聞けて、具体的かつ実践的であった」、「内容が豊富で多角的であり、多くの学びや気づきが得られた」といった前向きな評価が多く寄せられました。

今回の研修では、プラチナナースの活用や各施設におけるDXの導入状況、看護業務の効率化に向けた多様な取り組みが共有され、参加者同士の学びが深まりました。働きやすい職場づくりに向けた、持続可能な改善へとつなげていくことが期待されます。

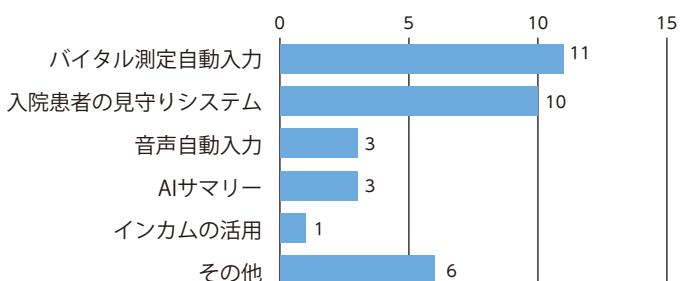


図1 施設のDX導入状況 複数回答 (n=22)

情報提供
求む

業務改善に先駆的に取り組む施設の皆さんの情報提供をお待ちしています//

働き続けられる職場環境づくり推進委員会 事務局 宮崎県ナースセンター miyazaki@nurse-center.net

令和7年度 理事会報告

第3回			
月日	令和7年7月19日(土) 10:00~11:05	会員数	8,064名 保健師:202名 助産師:251名 看護師:7,289名 準看護師:322名
協議事項	協議1. 基本方針:今回はなし 協議2. 事業推進に関する事項 2-1 事業報告(令和7年4月~6月分) (案)について:承認 2-2 常任委員会(教育委員会)委員の辞退に伴う後任の選定について:承認 2-3 認定看護管理者教育規程の改正について:承認 協議3. 管理的問題 「育児・介護休業等に関する規則」の改正について:承認 協議4. 人事関係:今回はなし 協議5. その他:今回はなし	報告事項	• 令和7年度施設代表者会議(中間報告)について • 新たな福利厚生の導入について

● 手作りお弁当 ●



昼夜憩3人に
4つ弁当がある問題



スタッフの
手作り弁当を
撮らせてもらいました。



彩重視、
肉巻き弁当



毎朝つくろ
家族分の
お弁当

Let's take a break
**みんなの
昼ごはん**



● 社食と販売弁当 ●



30年以上愛される
地元の総菜です。
レタス巻は最高です。



移動パン屋の
人気はパニーニ
です!



カフェのような空間で、
¥400で食べられます!!



編集後記



10月に入り一気に秋らしくなりました。どんどん過ごしやすくなっていますね♪食欲の秋、スポーツの秋、看護の秋です☆私生活でも仕事でも、皆様がどちらも健康的に過ごされることを願っております。気温の変化に体調を崩してしまうことがないよう、皆様気を付けてお過ごし下さい☆

広報出版委員 加藤 友章

広報出版委員

熊倉 仁美 (迫田病院)
 山崎 朱美 (平田東九州病院)
 丸田 紗織 (さがら病院宮崎)
 坂元由美子 (増田病院)
 安田修一郎 (小林市立病院)
 加藤 友章 (国立病院機構宮崎病院)
 高見 多恵 (三股病院)
 長谷川尚子 (古賀駅前クリニック)
 財部 正恵 (都城市郡医師会病院)
 上田麻衣子 (日南市立中部病院)

発行

公益社団法人 宮崎県看護協会
 TEL 0985(58)0622 FAX 0985(58)2939
 発行責任者/久保 敦子
 発行/宮崎市学園木花台西2丁目4-6
 E-mail : mkango@d2.dion.ne.jp
<https://www.m-kango.or.jp>